

ASEAN 各国の行政職員を対象とした「エシカル消費」に関する視察プログラムを支援しました。

消費者庁は、3月6日(水)～9日(土)、ASEAN 各国の行政職員を対象としたプログラム「キャパシテ
ィビルディングワークショップおよび視察－ASEAN 地域における持続可能な消費」の実施を支援しま
した。本プログラムは、「ASEAN 共同体ビジョン 2025」を掲げ、更なる経済発展を目指す ASEAN 諸国
において、持続可能な消費（Sustainable Consumption）の普及に向けた機運が高まっていることを
背景に、フィリピン国政府貿易産業省が提案者となり、日・ASEAN 統合基金（JAIF）を活用し、現地実施
機関として公益財団法人日本生産性本部(JPC)の協力を得て実施したものです。



岡村長官からの挨拶



ワークショップの様子

日本における「エシカル消費」の動向を視察するため、東京及び京都にて、有識者を交えたディスカッ
ションや持続可能性を考えたビジネスに取り組む事業者の視察、消費者庁・京都府・京都市主催の「エシカ
ル・ラボ in 京都」の聴講などを行い、行政職員の意識醸成を図りました。ディスカッションには、(一
社)日本エシカル推進協議会から有識者に御出席頂いたほか、「エシカル消費」に先駆的に取り組む事業者
や自治体の代表者にも、取組についての講義を頂きました。



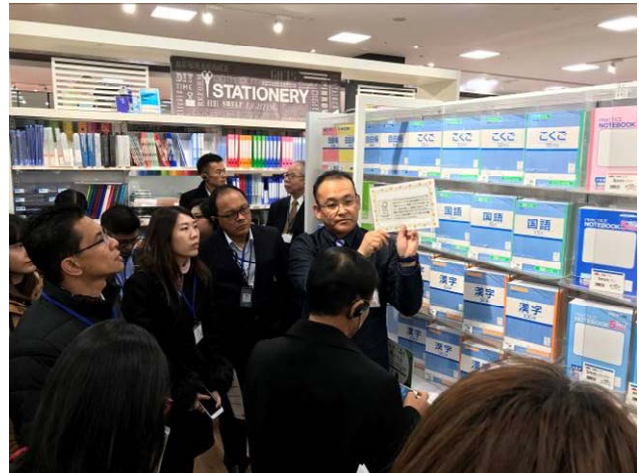
京都市内の事業者の視察



イオンスタイル京都桂川の視察



農産売場で GNN 認証バナナを紹介



文具売場で FSC 認証紙のノートを紹介

消費者庁からは、プログラム初日に、岡村長官や消費者教育推進室の職員が出席し、質疑応答も交えながら、日本における「エシカル消費」の動向について説明を行いました。最終日には、高島審議官が出席し、各国による成果発表を聴講するとともに、閉会挨拶を行いました。本プロジェクトでは、今後も、意識醸成を目的とした ASEAN 開催のフォーラムや、啓発ツールの開発などを行う予定であり、消費者庁は、国際社会の一員として「エシカル消費」の国際的な普及に貢献するため、継続的にサポートを行っていく予定です。



各国による成果発表



高島審議官からの閉会挨拶

